

令和5年度 蔵王山噴火時対応訓練に参加しました

令和6年1月22日（月）に蔵王山噴火時対応訓練に参加しました。

本訓練は、みやぎ型管理運営方式に伴い、運営権者が主体となって実施しました。

仙台管区气象台から蔵王山の噴火警報（噴火警戒レベル4）が発表されたことを想定し、行動計画に基づいて対応訓練を行いました。はじめに運営権者が策定している火山噴火対応マニュアル及び配備基準に基づいて、ろ過池へのブルーシートによる仮設覆蓋の設置シナリオの読み合わせ、続いて、水質検査機器・保護具準備、各薬品について備蓄量の確認、各薬品の発注計画策定等を机上で確認しました。

また、FAXを活用した各関係機関（本局及び受水市町）への情報伝達と受信確認を電話で行うこと及び緊急指定業者への待機指示、停電発生時に備え燃料備蓄量の確認と給油手配準備についても確認を行いました。

その後、実際にろ過池の配電盤にブルーシートによる仮設覆蓋の養生作業訓練をしました。

本訓練を通して、各関係機関とのFAXによる情報共有の円滑化、災害対応備品（防護服・防塵マスク・ブルーシート等）の保管場所及び浄水施設の養生作業方法等、県及び運営権者双方が共通で認識しなければならないと感じました。

今後とも定期的な訓練や研修の実施により、緊急時において迅速かつ的確な対応が行えるように技術向上に努めてまいります。



運営権者からの訓練概要説明



養生作業確認状況



養生作業実施状況（1）



養生作業実施状況（2）